

第37期第9回理事会議事録

日 時：2013年10月30日（水）13時40分～17時20分

会 場：日本気象学会事務局（気象庁 8 階）

出席理事：新野、藤谷、岩崎、経田、佐藤（薫）、塩谷、
竹見、中村（健）、中村（尚）、平井、藤部、
以上11名

Web 会議システムを通じた出席理事：里村、長谷部*、
以上 2 名

*：議題 6 の途中から出席

（理事現在数20名）

出席監事：高谷、以上 1 名

その他の出席者：田沢、渡辺（事務局）

議 題

1. 第37期第8回理事会議事録の確認
2. 会員の新規加入等について
新入会員16、退会 7 を全会一致で承認。2013年10月29日現在、会員数3,687名で個人会員は3,429名。
3. 温暖化書籍出版事業への助成提案について
中村（尚）理事より、地球環境問題委員会での温暖化書籍出版経費の内訳と想定読者、及び想定価格の検討結果の報告があった。また、同委員会の提案として予定価格を二千円半ばとするための経費の一部支援の要望があった。この助成の件については、書籍の刊行を含め公益事業として適切かどうかの検討を行い、その結果を踏まえて、判断することとなった。
4. 個人情報保護方針について
藤谷理事より、会員電子メールアドレスの収集に関連して、第6回理事会で検討を行った学会の「個人情報保護方針」を早急に定める必要があることから、再度、案について説明があり、検討を行った。次回理事会にて定めることとする方針を確認した。
5. 日中韓合同気象学会の今後について
新野理事長より、日中韓合同気象学会の今後を第6回日中韓合同気象学会の2日目（10月24日）に3学会代表者が集まって議論したこと、日本気象学会の提案してきた AOGS への移行案では合意に至らず、代替案を「日中韓合同気象学会を日中韓に深く関係するテーマでの専門家会合とする」として来年の AOGS 札幌大会の際に再度議論することにしたことが報告された。このことを踏まえた対処として、新野理事長より、日本気象学会が主催する次回

の開催は代替案のとおりとし、AOGS 札幌大会での合同セッション提案は行わないとする方針が示され、全会一致で了承した。次回開催に向けたテーマの選定については、国際学術交流委員会で検討を始めることとした。

6. 各委員会からの報告 庶務…

1) 転載許可

①申請者：饒村 曜

転載元：第3図、磯野謙治、駒林 誠、小野晃、1958：日本上空の氷晶核数の変動とその発源地（序報）、天気 VOL. 5, No. 9, 275.

転載先：饒村 曜著、「最新図解 PM2.5と大気汚染がわかる本」、株式会社オーム社発行、印刷出版物及び電子出版物。

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：第18回「震災対策技術展」横浜

主催：「震災対策技術展」横浜 実行委員会

期日：2014年2月6～7日

場所：横浜国際平和会議場

名義：後援

②名称：太陽光発電部会第7回セミナー

主催：日本太陽エネルギー学会

期日：2013年12月19日

場所：東京大学生産技術研究所

名義：協賛

③名称：第4回「分野4次世代ものづくり」シンポジウム

主催：東京大学生産技術研究所

期日：2013年12月6日

場所：理化学研究所計算科学研究機構

名義：協賛

④名称：サイエンスエキスポ2013

主催：日本工業新聞社・大阪科学機器協会

期日：2013年11月13～15日

場所：インテックス大阪1号館

名義：後援

- 3) 会員への電子メールアドレスの登録依頼実施について、内容と手順が報告された。依頼内容を議論し、会員情報登録手続きの通信上の安全性を確保した上で個人会員への登録依頼を行うことを了承し

た。

4) その他

- ・10月1日：新会員管理システムへの切り替え
- ・10月28日：外国会員2014年会費請求（98件）

会計…2013年9月分の収支及び現預金検査報告。

- ・来年の天気、気象集誌の出版、及び気象集誌の英文校正についてそれぞれ入札を行い、いずれも予定価格内で業者が決定したことが報告された。
- ・消費税率変更後の消費税対応及び価格表示についての報告があった。内税方式の大会参加費及び刊行物価格の変更後も据え置き、外税方式の掲載料及び広告料には変更後も消費税を転嫁することで了承した。

天気…Vol.60 No.10（2013年10月号）の掲載記事と、Vol.60 No.11, 12（2013年11, 12月号）の予定記事の報告。

- ・来年の印刷業者は入札の結果今年と同じ業者となったことが報告された。

気象集誌…Vol.91 No. 6 の掲載記事の報告。

気象研究ノート…編集作業の進捗状況の報告。

- ・委員2名が学会サーバと会員アカウントに関するワーキンググループに参加することの報告。電子版気象研究ノートの公開環境としての機能を検討するためとの説明があった。

SOLA…投稿論文の処理状況についての報告。

講演企画…委員2名が学会サーバと会員アカウントに関するワーキンググループに参加することの報告。

- ・2014年度春季大会の準備状況の報告。専門分科会のテーマ案3件が示され、いずれも全会一致で承認した。
- ・日本地球惑星科学連合大会における気象学会主催及び気象学会共催セッションについての報告。気象学会共催セッションの提案が2件あり、これを日本地球惑星科学連合に提案することを全会一致で了承した。
- ・2014年度秋季大会の準備状況の報告。開催期間は10月21～23日、開催場所は福岡国際会議場に決定したとの説明があった。

企画調整…藤谷理事より、以下の項目について報告があった。

- ・新定款では監事の任期は4年と定められていることから、今期の監事の任期は2016年までとなる。このため、次期役員候補者選挙においては、監事

の選任手続きは実施しない。

- ・地球惑星科学連合第9回学協会長会議へ、理事長の代理として出席。会議の概要として、①学術会議報告：東日本大震災を受けた提言の準備、大型研究計画の進捗状況等。②連合活動報告：学術会議の提言への対応としてユニオンセッションの実施、連合大会準備状況、ジャーナル進捗状況、フェロー制度の創設等。③各学協会の法人化の動向。
- ・学術会議主催の公開シンポジウム「学協会の新公益法人への対応の現状と展望」へ参加。
- ・支部長会議及び評議員会において、出席者から示された課題の概要。次回理事会でさらに検討を進めることが了承された。

学術…報告書「日本の気象学の現状と展望」に対する会員からの意見7件に対し、回答を作成したことが報告された。報告書および回答を来月確定することが説明された。

表彰…岩崎理事より、岸保賞の副賞メダル図案公募状況の報告があった。

- ・塩谷理事より、岡本謙一会員の平成25年度宇宙開発利用大賞国土交通大臣賞受賞の経緯について報告があった。
- ・塩谷理事より、日本気象学会が推薦して受賞に結びついた各賞受賞者リストの公開に向けた進捗状況の報告。学会HPに掲載する予定であるとの説明があった。

国際学術交流…第6回日中韓合同気象学会の開催状況の報告。セッション数は9、参加者数は中国から94名、韓国から14名、日本から19名であった。

- ・後期の国際学術研究集会への出席補助について、申請1件に対し要領の要件を満たしていないため不採用としたことが報告された。応募数が少ないことに関連して、必要性が議論され、応募のあるうちはそれに応えるために設けておくことを確認した。

電子情報…学会刊行物を収録したDVD納品の報告。

地球環境…温暖化書籍出版事業の進捗状況の報告。

気象災害…秋季大会前日に行う研究集会の準備と2014年度の春季大会での研究集会開催の検討状況の報告。

- ・日本地球惑星科学連合大会におけるユニオンセッション実施状況が報告された。セッションタイトルは「連合は環境・災害にどう向き合っていくの

か？－東日本大震災の教訓」。
人材育成・男女共同参画…労働契約法改正に伴う問題
に関する提言の準備状況の報告。

- ・女性研究者の関心を高めるための企画の検討状況
の報告。科学技術振興機構によるロールモデル集
の紹介があった。

7. その他

- ・大気海洋陸面相互作用研究会は1996年11月9日に
名古屋で研究集会を開催して以来久しく活動を行
っておらず、また現在の代表者とも確認が取れな
かったことから、同研究連絡会を廃止することを
全会一致で承認した。
- ・学会内組織の英語名称について、全体の統一性を

とった名称案を委員会・研究連絡会に照会し、そ
の後に確定とすることを了承した。

- ・佐藤(薫)理事より、日本学術会議の動向が報告さ
れた。地球惑星科学委員会の下に宇宙科学（地球
環境も含む）に関する小委員会が設けられたこ
と、「夢のロードマップ」の改訂を行ったことの
説明があった。

平成25年11月19日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏

監 事 高谷康太郎